

## 学内外活動の記録

### 【論 文】

#### [生命科学部生命科学科]

##### 仲 章伸

- (1) Naka, A., Fujishima, K., Okada, E., Noguchi, M., Ohshita, J., Adachi, Y., Ooyama, Y., Ishikawa, M., "Synthesis of pentamethyldisilanyl-substituted starlike molecule with triazine core and its application to dye-sensitized solar cells", J. Organomet. Chem. in press.
- (2) Naka, A., Mihara, T., Kobayashi, H., Ishikawa, M., "Platinum-catalyzed reactions of 2,3-bis(diethylsilyl)thiophene with alkynes", J. Organomet. Chem. 822, 221–227 (2016).
- (3) Naka, A., Yoshizawa, K., Ishikawa, M., "Thermal behavior of benzobis (tetraethylidisilacyclobutene)", Z. Naturforsch., 71 b, 227–230 (2016).
- (4) Ishikawa, M., Naka, A., Yoshizawa K. "The chemistry of benzodisilacyclobutenes and benzobis(disilacyclobutene)s: New development of transition-metal-catalyzed reactions, stereochemistry and theoretical studies", Dalton Trans., 45, 3210–3235 (2016).

##### 須見 洋行

- (1) 須見洋行, 溝手久弥, 今井雅敏, 丸山真杉: イ草アロマ成分は t-PA 発現を亢進し, 血小板凝集能を阻害する. *New Food Industry*, 58(1): 29–33, 2016.
- (2) 須見洋行: 各種テンペが有する効能成分—ビタミン K2, ポリアミンおよびフィブリン溶解活性について—. *New Food Industry*, 58(2): 14–16, 2016.

#### [生命科学部生命医科学科]

##### 藤本 一満

- (1) 藤本一満: ISO 15189 を取得して 9 年, 効果はあったのか～アンケート結果を中心に～. *臨床病理* Vol.63: 1279–1284, 2015.
- (2) 藤本一満: 分析組立力にて難題を紐解く(初級～上級編). *医療と検査機器・試薬* Vol.39: 116–121, 2016.

##### 森 康浩

- (1) Habara T, Sonobe H, Fujimura N, Kaihara K, Mori M: Morphological analysis of reactive mesothelial cell clusters with collagenous stroma in malignant and non-malignant effusions. *J. Jpn. Soc. Clin. Cytol.* 55(3): 142–147, 2016.

**【著 書】****[芸術学部メディア映像学科]****神原 正明**

- (1) 神原正明 (監修), ジェームズ・ルービン (著): 西洋名画の読み方 5 印象派. 内藤憲吾 (訳), 創元社, 2016. 408 頁.

**[生命科学部生命科学科]****須見 洋行**

- (1) 須見洋行: 厳選「本格焼酎」手帖. 株式会社世界文化社, 2015. 192 頁.
- (2) 須見洋行: 血糖値・ヘモグロビン A1c 下げぐせがつく糖尿病大満足レシピ. 主婦の友社, 2016. 79 頁.
- (3) 須見洋行: すぐわかる肝臓病と肝臓強化法. 主婦の友社, 2016. 191 頁.
- (4) 須見洋行: 血管のサビ落とし. 主婦の友社, 2016. 68 頁.
- (5) 須見洋行: 高血圧を自分で下げる!. 主婦の友社, 2016. 68 頁.

**[生命科学部生命医科学科]****泉 礼司**

- (1) 泉礼司, 内田文也, 富原健ほか: JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本. じほう, 2015. 264 頁.

**【学会発表・学術研究集会】****[生命科学部生命科学科]****須見 洋行**

- (1) 須見洋行. 大豆発酵食品の機能性, 日本テンペ研究会平成 28 年度大会, ヘルスピア倉敷, 2016. 8. 27.
- (2) 須見洋行. 胚芽納豆はエクオールだけでなくポリアミンに優れている, 日本テンペ研究会平成 28 年度大会, ヘルスピア倉敷, 2016. 8. 27.
- (3) 矢田貝智恵子, 内藤佐和, 須見洋行. 各種豆類テンペと食パンへの応用, 日本テンペ研究会平成 28 年度大会, ヘルスピア倉敷, 2016. 8. 27.

## [生命科学部生命医科学科]

### 泉 礼司

- (1) 泉礼司. 超音波ミニレクチャー&ハンズオン～冠動脈を描出しよう～. 第48回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 米子. 2015. 11. 7-8.
- (2) 泉礼司. 医用超音波照射による生体組織への影響. JSS 中国第19回地方会学術集会. 岡山. 2015. 11. 22.
- (3) 大西崇文, 矢口貴博, 芝原一樹, 岩佐貴仁, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 子宮体癌細胞株における ABCG2 によるエストロゲン誘導細胞増殖の制御. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (4) 芝原一樹, 矢口貴博, 岩佐貴仁, 大西崇文, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 甲状腺癌細胞株における酸化ストレス誘導アポトーシスの際の細胞内情報伝達経路. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (5) 岩佐貴仁, 矢口貴博, 大西崇文, 芝原一樹, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. エストロゲン依存性子宮体癌細胞株悪性度の根底にあるプロゲステロン受容体の役割. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (6) 森智紀, 森康浩, 矢口貴博, 三宅康之, 泉礼司, 岡田誠剛, 坂口卓也. 子宮体癌細胞における HES1 の発現機構. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.

### 三宅 康之

- (1) 三宅康之. 病理肉眼標本—医学教育における利用法—. 平成27年度日臨技北日本支部医学検査学会. 札幌. 2015. 10. 17-18.
- (2) 林梨奈, 一木奈絵, 二嶋伽奈衣, 山本成美, 森康浩, 三宅康之. 退色細胞診標本再染色の検討. 第48回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 米子. 2015. 11. 7-8.
- (3) 向井基修, 森康浩, 三宅康之. ヒト肺癌細胞株から分取した side population 細胞の特徴解析. 第48回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 米子. 2015. 11. 7-8.
- (4) 小倉千尋, 森康浩, 三宅康之, 坂口卓也. ヒト肺腺癌細胞株から分取した side population 細胞の特徴解析. 第54回日本臨床細胞学会秋期大会. 名古屋. 2015. 11. 21-22.
- (5) 大西崇文, 矢口貴博, 芝原一樹, 岩佐貴仁, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 子宮体癌細胞株における ABCG2 によるエストロゲン誘導細胞増殖の制御. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.

- (6) 芝原一樹, 矢口貴博, 岩佐貴仁, 大西崇文, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 甲状腺癌細胞株における酸化ストレス誘導アポトーシスの際の細胞内情報伝達経路. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (7) 岩佐貴仁, 矢口貴博, 大西崇文, 芝原一樹, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. エストロゲン依存性子宮体癌細胞株悪性度の根底にあるプロゲステロン受容体の役割. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (8) 森智紀, 森康浩, 矢口貴博, 三宅康之, 泉礼司, 岡田誠剛, 坂口卓也. 子宮体癌細胞における HES1 の発現機構. 第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会合同年会. 名古屋. 2015. 12. 1-4.
- (9) 三宅康之. 細胞診の見方と検体処理法. 平成27年度鳥取県細胞診初診者講習会. 米子. 2015. 12. 6.

#### **藤本 一満**

- (1) 藤本一満: 酵素法による尿中馬尿酸測定試薬の考案. 日本臨床検査自動化学会第47回大会, 横浜, 2015. 10.
- (2) 藤本一満: RCPC 類天疱瘡のため入院した74歳男性. 第55回日臨技近畿支部医学検査学会, 大阪, 2015. 10.
- (3) 藤本一満: 酵素法による尿中馬尿酸試薬の実用化検討. 第55回日本臨床化学会年次学術集会, 大阪, 2015. 10.
- (4) 藤本一満: 検査説明するテクニック. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 和歌山, 2016. 5.
- (5) 藤本一満: 学校教育について. 第65回医学検査学会, 神戸, 2016. 9.
- (6) 藤本一満: 臨床化学若手育成プログラム「TERAKOYA」の立上げ. 日本臨床検査自動化学会第48回大会, 横浜, 2016. 9.
- (7) 藤本一満: 汎用自動分析装置の各機構の原理と特徴. 日本臨床検査自動化学会第48回大会, 横浜, 2016. 9.

#### **森 康浩**

- (1) 小倉千尋, 森康浩, 三宅康之, 坂口卓也. ヒト肺腺癌細胞株から分取した side population 細胞の特徴解析. 第54回日本臨床細胞学会秋期大会. 名古屋, 2015. 11.
- (2) 森智紀, 森康浩, 矢口貴博, 三宅康之, 泉礼司, 岡田誠剛, 坂口卓也. 子宮体癌細胞における HES1 の発現機構. 第38回日本分子生物学会年会. 第88回日本生化学会大会合同大会. 神戸, 2015. 12.
- (3) 芝原一樹, 矢口貴博, 岩佐貴仁, 大西崇文, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 甲状腺癌細胞株における酸化ストレス誘導アポトーシスの際の細胞内情報

- 伝達経路. 第38回日本分子生物学会年会. 第88回日本生化学会大会合同大会. 神戸, 2015. 12.
- (4) 大西崇文, 矢口貴博, 芝原一樹, 岩佐貴仁, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. 子宮体癌細胞株における ABCG2 によるエストロゲン誘導細胞増殖の制御. 第38回日本分子生物学会年会. 第88回日本生化学会大会合同大会. 神戸, 2015. 12.
- (5) 岩佐貴仁, 矢口貴博, 大西崇文, 芝原一樹, 森康浩, 岡田誠剛, 泉礼司, 三宅康之, 坂口卓也. エストロゲン依存性子宮体癌細胞株悪性度の根底にあるプロゲステロン受容体の役割. 第38回日本分子生物学会年会. 第88回日本生化学会大会合同大会. 神戸, 2015. 12.
- (6) 林梨奈, 一木奈絵, 二嶋伽奈衣, 山本成美, 森康浩, 三宅康之. 褪色細胞診標本再染色の検討. 第48回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 米子, 2015. 11.

## 【研 修 会】

### 【生命科学部生命医科学科】

#### 藤本 一満

- (1) 藤本一満. 四国臨床検査技師協議会. 四臨協 臨床化学検査研究班研修会, 徳島, 2015. 11.
- (2) 藤本一満. 臨床化学若手育成プログラム「TERAKOYA」第1期第1～5回, 大阪, 2015. 10. ～2016. 2.
- (3) 藤本一満. 京都府臨床検査技師会. 京都臨床化学実技研修会(第7回みやこ研修会), 京都, 2016. 2.
- (4) 藤本一満. 京都府臨床検査技師会. 第8回京都臨床化学サマー研修会～生化学検査基礎講座～, 京都, 2016. 8.

#### 泉 礼司

- (1) 泉礼司. 講演 目指せ! エキスパート!! 心臓領域: 虚血性心疾患編. 国立病院機構 中国四国グループ内臨床検査技師実習技能研修会. 岡山. 2015. 12. 5.
- (2) 泉礼司. 講演 定量評価のポイントを理解する(逆流病変, 短絡疾患). 第127回医用超音波講義講習会. 大阪. 2015. 12. 19.

【総 説】

[生命科学部生命科学科]

須見 洋行

- (1) 須見洋行, 伊藤隆章, 丸山眞杉: 納豆の文化と機能性. *Functional Food*, 10(1): 33-38, 2016.